桜美林学園

同窓会だより

2024.3.25発行　209号

令和6年能登半島地震の報道に際し
謹んでお見舞い申し上げると共に 被災地域の
一日も早い復旧を心よりお祈り申し上げます

活躍するオベリンナー……2
広げようオベリンナーの輪……4
同窓会活動のご報告……7
　清水安三先生の胸像除幕式が開催……8
同窓会からのご案内……10
　2024 総会＆リ･ユニオン開催……10
オベリンナーの活動をご紹介……12
OBERLINER ACTIVITIES……13
清水安三先生随筆……14
ひろば／ご逝去された方々……15
INFORMATION／編集後記……16

町田キャンパスの変遷（写真･上1972年／下2017年）

2024「賀寿礼拝」開催のご案内

日程／4月27日(土) 14:00より　会場／町田キャンパス 荊冠堂チャペル　詳細は同窓会ウェブサイトをご覧ください。
対象の皆さまには別途ご案内はがきをお送りしております。皆さまのお越しを心よりお待ち申し上げております。

活躍するオベリンナー

落語家
鈴々舎美馬（れいれいしゃみーま）・
小林千華さん
（15大LA卒）

落語家という天職と出会わせてくれた母校に感謝して

落語の世界の楽しさを知ったのは、桜美林大学在学中のこと。落語研究部に所属し、地域のお祭りや福祉施設等さまざまな場所で落語を披露する機会をいただきました。学生落語の全国大会でベスト４に進出し、卒業式で文化功労賞をいただいたことを今なお誇りに思っています。学生時代の落語との出会いが、天職との出会いとなりました。のびのびと好きなことを追求できる桜美林大学の環境があったからこそ、好きな道に邁進できたのだと思い、感謝しています。

二ツ目昇進落語会を開催

現在は一般社団法人落語協会に所属し、東京の寄席を中心に全国各地の落語会に出演しています。2023年11月に約6年間の前座修行を経て二ツ目に昇進しました。
2024年１月には、相模女子大学グリーンホールの大ホールにて、「鈴々舎美馬 二ツ目昇進落語会」を開催しました。開催にあたり、桜美林学園同窓会と桜美林大学校友会に協賛いただき、お力添えをいただきました。卒業生をこんなにも温かく応援してくださることに、感謝の思いでいっぱいです。在学中に落語家になるという夢を与えてくれた母校にご恩返しをするために、桜美林大学出身の落語家として活躍できるよう、これからも精進してまいります。

2023年のホームカミングデーでは、スペシャル講演として、古典落語「金明竹（きんめいちく）」を披露。圧巻の口演に観客は引きつけられました！

桜美林の精神を胸に卒業生として歩む道

2022年ウクライナから避難してきた仲間とオフィスにて

弊社では、国内・国外約190カ国に30,000名以上の登録者がおり、130以上の言語で翻訳・通訳・ナレーションなど、ことばに関するサービスを広く提供しております。展示会や国際会議での通訳や各種文書翻訳のほか、TV局での海外ニュースリサーチ、アカデミー賞国際長編映画賞を受賞した映画「ドライブ・マイ・カー」や戦時下ウクライナのろう者の現状を取り扱ったNHK「ハートネットTV」制作における手話・言語監修、最近では2024年1月より放送のTBSアニメ「魔女と野獣」でのラテン語監修など実績は多数。「言葉のその先へ。」をモットーに、さまざまなご要望にお応えできるよう勤しんでおります。

「桜美林の思い出」は現在進行形

桜美林短期大学在学中は生活文化学科に在籍。今にして思えば、その頃から世界のさまざまな生活の実情や文化に触れ、夏休みには中国に短期留学もしました。後年、世界の文化の多様性を言葉で引き受け、表現し、橋渡しを行う仕事を始めたことは、面白い縁だと思っています。学生時代の自分は、中国文化や哲学など自分の好きなことを見つめ、どちらかというと内向的だったと記憶しています。そのような学生も許容し、前向きな人間性を育んでくれた母校の懐の深さにとても感謝しています。学業を終え社会に出てから、さまざまな背景をお持ちの方とたくさん出会いました。なかでも桜美林の卒業生は個性的で、独立不羈（ふき）でありながら、親切で助け合いの精神が豊かな稀有な方が多いと感じています。

「桜美林の思い出」は、私にとっては過去ではなく、現在進行形の新鮮さに彩られています。多様性にあふれた同窓生の皆さんと桜美林というひとつの窓でつながり、時間を飛び越えて皆さんと歩みを進められることは、とても嬉しく素敵なことであり財産です。今後も桜美林の卒業生として、しっかりと励みたいと思います。

株式会社通訳翻訳舎
Multilingual Cloud Inc. 取締役
山口恵美さん（97短生卒）

広げようオベリンナーの輪

全国に広がる支部会、同窓会、クラブ活動OB会などの活動をお知らせします

詳細は
ウェブサイトへ

支部会

横浜支部　2023.9.2

第14回 横浜リ･ユニオン開催報告

第一部では校友会常任理事・NPO法人代表の広田悠大氏より、大学生ファシリテーターとの本音に近いコミュニケーションを通じて高校生に成長機会を提供する活動の紹介があり、大変興味深いものでした。第二部の懇親会では、初参加の皆さまにクオカードを贈呈、さまざまな年代の方々が親睦を深めました。今回もワークショップを実施し、単なる同窓会にとどまらない、有意義なひとときとなりました。　横浜支部幹事　博山広忠／90大経卒

支部会

広島支部　2023.10.7

第4回 広島リ･ユニオン開催報告

第４回の広島リ・ユニオンが、10月７日に初めて広島市内で開催されました。学園からも出席があり、28名の参加となりました。はじめに学園の方からあいさつがあり、私が在学しておりました半世紀前より学群（学部）や学生数が増えて、大変大きな大学となったことに驚かされました。これからも広島での開催を希望し、一人でも多くのオベリンナーとの再会を祈念しております。

兼田憲治／73大経卒

支部会

山形支部　2023.10.21

山形支部発会式開催報告

鶴岡市にて山形支部発会式を開催しました。開催に際し、桜美林学園上坂人事部長をはじめ学園の方々、井原同窓会副会長や東京・神奈川・群馬・宮城の各支部からたくさんの方が山形までお越しくださいました。県内の各地域からも幅広い年代の方々が、故郷で初めて開かれる同窓会を楽しみにお集まりくださいました。初対面同士が多いスタートでしたが、会場はすぐに和やかな雰囲気に包まれ、桜美林での思い出話を肴に親睦を深めることができました。おかげさまで温かな素晴らしい発会式となり、山形支部の立ち上げと発会式の開催にお力添えくださった皆さま、発会式にご参会くださった皆さまに心より御礼申し上げます。山形県は、地形や交通網等の事情から同一県内といえども、他の地域との行き来が少し不便な土地です。地域を越えて同窓生の輪が広がるように工夫しながら、支部の活動を長く継続させたいと思っております。四季折々の食べ物と地酒と温泉が、県内どこでも楽しめる山形県。同窓生の皆さま、次回の山形支部会にぜひお越しください。お待ちしております。

山形支部長　手塚太一／92大商卒

支部会

沖縄支部　2023.11.18

第18回 沖縄リ･ユニオン開催報告

ロワジールホテル那覇において、第18回沖縄リ・ユニオンを開催いたしました。4年ぶりの開催ということ、また今回は大学校友会にも協賛いただいたこともあり、会場をこれまでの居酒屋からホテルに変更したところ、例年の倍以上の方に参加いただきました。あいさつと乾杯の後、和やかに歓談し、会の中盤からは学園紹介や同窓会・校友会のPR等で親交を深めました。その後、ゲームタイムやエイサーの演舞もあり、大いに盛り上がりました。最後に来年の再会を約束して閉会しました。

沖縄支部長　新城昭二／80大経卒

支部会

相模原支部　2023.11.25

第8回 相模原リ･ユニオン開催報告

待ちに待った4年ぶりの開催。落語研究会の時和亭湊旦人（ときわていすたんど）さんの高座や、まもなく米寿を迎える渋谷隆宏、廣瀬辰夫両先輩を囲んでの懐かしいお話に、会場は大きな笑顔で包まれました。山本同窓会長による崇貞学園訪問報告を通じて、100年を超える学園の歴史も日中両国の友好関係も、清水安三先生の優しさに由来するものであると再認識し学園で学んだ者としてとても誇らしく思いました。結びに35名の参加者が手を取り合い学園歌を斉唱、次回の再会を約束し散会となりました。　相模原支部幹事　萩生田康治／87中学・91高校・95大国卒

同窓会

1973年度高校GH組 合同クラス会

2023.10.22

還暦クラス会から早8年、暑さの残る紅葉の美しい季節にやっと合同クラス会を開くことができた。店の扉を開け、入ってくるなり「わあ、○○さん元気だった？」「○○君、変わらないねえ」「えっと～、誰だっけ？」など、にぎやかな声が飛びかう。みんな、もう高校時代に戻っているようだ。思い思いに語らいあの時代を懐かしみ話が弾む。あっという間に時間が過ぎ、次の幹事にバトンタッチした時、どこからともなく「これから毎年やろうよ」という声がかかる。「いいねえ」みんなも賛同。何だか、もう来年が待ち遠しい。桜美林高校に入り、みんなに会えたこと幸せに思う。また、時が動きだした。

幹事代表　増子茂子／73高校・77大中卒

同窓会

52年ぶりの同窓会

2023.11.12

同窓会事務局で同期の醍醐君を紹介していただき、お手伝いを強引に頼みました。半世紀ぶりに皆さまとお会いしても話が通じるってすごい。「僕らの時代は学部、学生、先生方の垣根を越えて交流していたね、そういう点で桜美林では貴重な時間を過ごせたと思う」と楽しかった学生生活を振り返り、AIやリモートの時代になっても人との交流は宝物、後輩たちにも大切な4年間を有意義に世界を広げていってほしいと思いました。友人たちはそれぞれ大活躍、素晴らしい人生を送っているなと感銘を受けました。

川浦（稲垣）文子／70大英卒

同窓会

1973年度高校Ⅰ組 クラス会

2023.11.03

3年ごとに行っていたクラス会は、コロナ禍を経て6年ぶりの開催に。担任の大石靖子先生と副担任の奥脇信久先生が揃い、元気なお二人とお会いできたことに感謝しました。特に米寿を迎えた奥脇先生の若さには驚きました。米国在住の友の35年ぶりの参加が叶ったほか、祝日開催にしたことで、これまで参加できなかった多くの友と交流でき、15年の幹事経験で最も充実した会となりました。次は来年の古稀礼拝での再会を誓い散会しました。現在27名のⅠ組LINEグループがありますので、参加したい方はご連絡ください。　Ⅰ組幹事　猪狩満晴／73高校卒

同窓会

高等学校39期生同窓会

2023.11.26

4年ぶりの開催に、野中先生、藤崎先生、須崎先生とA～H組の49名の同級生が集まりました。39期生は2023年で54歳。みんなそれぞれの人生を歩んできたことと思いますが、当日は歓談の中で笑顔がいっぱいでした。高校時代にはほとんど話したことのない人でも、なぜか同窓会では気軽に話すことができ、心嬉しい気持ちになりました。締めは野中先生の指揮のもと、全員で校歌をフルコーラス大合唱。今回は参加できなかった人が多かったこともあり、毎年同窓会の誘いをすることにしました。終わったばかりですが、既に次回が楽しみです。　安田　隆／87高校卒

同窓会

中文科新年会「楽乎（らっこ）の会」開催

2024.01.07

自由が丘の梅華菜館で「楽乎の会」を開催しました。参加者は南雲先生をはじめ23名で、遠方からの参加者も多くいました。年齢層はアラ還世代以上ですが飲むほどに盛り上がり、中盤から各々近況報告や学生時代のエピソードの紹介がありました。卒業後の仕事は中国関連や教職員が多いなか、工事職人一筋の方がいたりと、中文科の懐の深さを改めて感じました。また山本同窓会会長から、現在リベラルアーツ学群で中国語を学んで活躍している学生や卒業生の紹介があり、頼もしく思いました。二次会はカラオケで昭和ヒット曲のオンパレード、今年も会名のとおり「友朋自遠方来、不亦楽乎」となりました。　梶原　崇／82大中卒

OB会

高校剣道部　2023.10.29

剣道部創部60周年記念式典開催

式典は初代監督・OB会顧問伊藤隆吉先生を来賓として迎え、総勢103名が出席。渡辺副会長の開会の辞に始まり、霧生会長、伊藤先生のお言葉、男女新主将の力強い決意表明、続いて吉田前会長の乾杯の音頭で幕を開けた。歓談では、最古参の第5期生（70年卒）から第54期生（19年卒）までが年齢を超えて杯を酌み交わし、とりわけ伊藤先生の前には途切れることのない列ができた。また、三浦・古澤両監督を囲み談話に花が咲いた。後半では両監督からの活動報告、OB・OGによる「思い出」スピーチがあり、寮生時代のエピソードや日々の稽古・合宿・大会で得た経験や教え、仲間との絆、そして部訓「真摯」の精神は皆の心の支えとして生き続けているという言葉に、参加した誰もが共感を覚えた。

式典実行委員長　佐藤　浩／76高校卒

同窓会活動のご報告

詳細は
ウェブサイトへ

NEWS 中高文化祭に参加しました

2023年9月23・24日

今年も中高文化祭に参加させていただき、2日間の学園関連グッズ販売活動を通じて27万4,600円の売上全額を学園の

「中高教育環境整備資金」あてに9月26日に寄付いたしましたのでご報告申し上げます。桜美林学園同窓会では中高文化祭に際し、恒例行事として桜美林グッズ販売や『同窓会創立65周年記念誌』の配布などを中心に活動しており、今年も多くの方のご賛同を得て過去にない売上高で無事終了できました。これは中高関係者さまをはじめ、多くの方々のご協力あってのこととして感謝申し上げますとともに、今後も引続きこうした活動を通して学園の発展に多少なりとも寄与できるよう行事の企画運営、実行をしてまいります。

行事企画委員会委員長　村田　望／88大中卒

NEWS 町田キャンパス大学祭&ホームカミングデーに参加しました

2023年10月28・29日

町田キャンパスでの大学祭では、同窓会として新宿キャンパス大学祭とあわせパンフレットの広告協賛をいたしました。また、イベントとしては同窓会室と桜カフェで、来校された卒業生へのご対応、大学卒業生が勤務する接骨院の施術体験会開催などを通じて、同窓会活動に励みました。無料の施術体験は初めての試みで当初はどうなるかと心配もしましたが、結果として非常に多くの方々に喜んでご体験いただき、2日間を通じて100名を超える参加者でにぎわいました。

接骨院スタッフによる無料カウンセリングと施術体験会を開催しました

桜カフェで行われた校友会によるホームカミングデーでは会場の一角に同窓会ブースが設置され、記念誌や『同窓会だより』の配布、同窓生との交流や同窓会活動のご案内、また懐かしいアルバムなどをご覧になりたい卒業生の方々を同窓会室にご案内し、古い記憶や懐かしいお話を楽しんでいただける場を提供させていただきました。数十年ぶりに学び舎を訪れた方や、香港から親御さんを連れて来校された卒業生の方々、新たに移転先住所をご連絡いただいた方など多くのご来場に対応させていただきました。引き続き同窓会活動を通じて、卒業生同士の紐帯を締めて行くことを願い活動を続けてまいります。

行事企画委員会委員長　村田　望／88大中卒

NEWS

北京・陳経綸中学で清水安三先生の胸像除幕式が開催されました

2023年10月22日

詳細は
ウェブサイトへ

除幕式とその後に行われた交流会の様子。両校の交流について積極的な意見が交わされました。

学園創立100周年記念事業として、桜美林学園と同じく崇貞学園を源流とする北京市陳経綸中学に創立者・清水安三先生の胸像が贈呈されました。除幕式が同中学の帝景分校で催され、小池理事長、畑山学長をはじめとする訪問団に同窓会代表として醍醐校友会副会長とともに出席しました。同校の100周年記念で建設された校史館では、崇貞学園当時の貴重な写真や資料が展示され、校内の随所に校訓として「学而事人」の文字がありました。桜美林のルーツと歴史を再認識できる場所でもあります。広い中国でも日本人の胸像が設置されている学校は他にはありません。皆さまも機会があればぜひ一度訪れてみてはいかがでしょうか。　　同窓会会長
山本美浩／79中学・82高校・86大中卒

活躍するオベリンナー in 北京

師恩――桜美林大学の思い出

北京外国語大学准教授 宋 剛さん（左・08大院卒）・弁護士 劉 新さん（右・08大院卒）

朝５時に築40年のボロアパートを出て、スーパーSANWAの野菜コーナーで品出し。７時半に大学に行って講義を受ける。午後４時に自転車で駅２つ離れた古淵のイトーヨーカドーのパン屋に駆けつけて、夜10時までまたアルバイト。帰宅したら、夜中の１時まで論文に悩まされる。国費奨学金をもらって生活の余裕が出たら、ほぼ毎日夜の９時閉館まで図書館の４階にいて、その後、碩学会館の研究室に移動して12時まで勉強。読んだ本は1,000冊以上。とにかく６年間の辛い留学生活でした。

2008年、ついに帰国。私は外交官の揺りかごといわれる名門の北京外国語大学の教員になりました。APEC、G20、一帯一路サミットフォーラムで中日両国の多くの指導者の通訳を担当するチャンスに何度も恵まれました。妻は合格率10％の司法試験に合格して優秀な弁護士になりました。幸せですが、今の生活は努力の賜物ばかりではありません。

通訳を担当したAPEC会場にて

つらい東遊の日々の中で、僕らをずっと支えてくれたのは桜美林大学の先生方の優しさだったからです。魯迅の本当の姿を教えてくださった丸山 昇先生、文学の世界へ導いてくださった植田渥雄先生、さまざまな貴重なチャンスを提供してくださった金山 権先生、そして素晴らしい人間的魅力と学問への強い探求心を感じさせてくださった太田哲男先生。今でも、先生方に励まされています。桜美林学園の小池一夫理事長がくださった、吉村 昭『冬の鷹』の主人公で日本の近代医学の礎を築いた「解体新書」の翻訳者・前野良沢のような歴史に名を残す翻訳者になりたいです。夢の一つは太田先生の大作『清水安三と中国』を中国語に翻訳して出版することです。

2010年、息子が生まれました。名前の発音は「しおん」です。桜美林大学の老「師」の方々の「恩」を肝に銘じたいと思いつけた名前です。

NEWS

高校第73期生二十歳を祝う会

2024年1月8日

第73期生の二十歳を祝う会を荊冠堂チャペルにて行いました。当日は多くの卒業生、保護者の方々、そして先生方にご出席いただきました。天気にも恵まれ、チャペルには暖かい日の光が差し込み、卒業生同士の再会を喜ぶ声で溢れていました。

礼拝では「ワシのように翼を張ってのぼる！」という題で桜美林中学校・高等学校校長、堂本陽子チャプレンよりお話をいただきました。私たちの高校3年間を思い返すと多くの「変化」があった3年間でした。新型コロナウイルスによって、今まで当たり前にできていたことができなくなってしまい、戸惑うことも多かったと思います。しかし互いに支え合い、多くの方々に支えられながら、私たちなりの素晴らしい3年間を送ることができました。その方々への感謝を忘れず、また今自分たちが置かれている環境を当たり前と思わずに一日一日を大切に過ごし、ワシのように翼を張ってのぼることのできる未来へ歩んでいきたいと改めて感じました。また、この年始には能登半島を中心とする大きな地震が発生しました。被害に遭われた方々の一日も早い復興を皆で祈ると共に、常に他者のことを思いやる「隣人愛」の精神をこれからも強く持ち続けたいと思いました。

茶話会では、今年からマスクの着用が義務ではなくなり立食形式で行うことができました。桜カフェは皆の笑顔で溢れ、大変素晴らしい会となりました。

二十歳を祝う会の開催にあたり、大変多くの方々にご協力いただきました。先生方、同窓会の方々、そして当日ご出席いただきました全ての方々に感謝申し上げます。私たちに沢山の愛情と学びを与えて下さった桜美林中学校・高等学校のますますのご発展を第73期生一同お祈り申し上げます。本当にありがとうございました。

実行委員長　下山愛葉（さがやまなは）／18中学・21高校卒

地域交流会

埼玉地域交流会に参加しました

2023年9月30日

桜美林大学校友会主催で、パレスホテル大宮で開催された、埼玉県初の地域交流会に参加しました。当日は桜美林中学・高校・大学の卒業生総勢74名にご参加いただき、学園卒業生の交流の輪を広げることができました。参加者の中には、桜美林高校野球部が甲子園で全国優勝した際の記念品をお持ちくださった方もいらっしゃり、当時の学校生活を懐かしむ貴重な機会となりました。

地域交流会

静岡地域交流会に参加しました

2023年12月2日

桜美林大学校友会主催で、静岡県初となる地域交流会をホテルグランヒルズ静岡にて開催しました。静岡県在住の方だけでなく、近隣の県からも足を運んでくださり、総勢60名の卒業生が集いました。交流会では、学園の最新情報の紹介や学園にまつわるクイズ大会、ご参加いただいた方からのごあいさつの時間も設け、終始和気あいあいとした雰囲気の中で過ごすことができました。

同窓会からのご案内

2024 総会&リ·ユニオン開催

◉日程·会費·お申し込み

日程／6月15日(土)　会費／3,000円
参加申込締切／5月31日(金)

人数確認のためご出席の方は、同封はがき、電話(☎042-797-1632)、右記QRコードよりお申し込みください。会費は当日受付にてお支払いください。

お申し込みは
こちらから!

◉当日のプログラム·会場

第1部　会場／荊冠堂チャペル

09:30〜 受付
10:00〜 礼拝·総会
11:00〜 講演会

第2部　会場／崇貞館 桜カフェ

12:30〜 リ·ユニオン(懇親会)
14:30　閉会

※ 時間は変更になる場合がございます。
※ 当日は淵野辺駅よりスクールバスが運行しています。学園へのアクセスは、大学ウェブサイトをご覧ください。https://www.obirin.ac.jp/access/
※ 同期会·クラス会·ゼミ·部活·サークルなどの集まりの同日開催を歓迎します。開催の際は通信費の補助を行っていますので、詳細は同窓会事務局までお問い合わせください。
※ 同窓会主催行事の写真は、同窓会の発行媒体で使用する場合があります。

◉講演会のお知らせ

【 清水安三と中国 ― 希望を失わず ― 】
〜 学園設立の理念·安三の前半生とともに 〜

登壇予定の先生方

桜美林大学
名誉教授
太田哲男先生

桜美林大学
リベラルアーツ学群 教授
中生勝美先生

『清水安三と中国』の著者である太田先生と中国研究家の中生先生に学園創立100周年を経たいまだからこそ、建学の理念に立ち返り安三先生と中国、学園設立への想いを語っていただきます

太田先生の著書『清水安三と中国』を軸に、清水安三の生きざま・志を皆で一緒に考え、学ぶ時間を過ごしてみませんか？ 1917年に清水安三は中国・大連の地を踏み、1921年に桜美林学園の前身の崇貞学園を設立。終戦後1946年3月に山口県仙崎港に降り立つまで、中国を離れた期間を除く22年余に及ぶ前半生の軌跡をたどることで理解が深まります。太田先生のレクチャーで、桜美林学園設立へと続く『希望を失わず』の物語をさらに深く知る講演です。

《同窓会創立65周年記念誌を無料でお届けします》
母校の思い出が満載です!

同窓会では、リ・ユニオンほかイベントご参加の方々に『同窓会創立65周年記念誌』を贈呈しております。残念ながらご参加できない、まだお持ちでない方に、レターパックで記念誌をお送りします(代金無料)。ご希望の方は右のQRコードよりお申し込み下さい。また、OB会・クラス会にもまとめてお送りします。事務局までお問い合わせください。

お申し込みは
こちらから!

●締め切り：2024年5月15日(水)　●数量：先着200部限定
●同窓会事務局：☎042-797-1632(平日9:00〜16:00)

学園・同窓会の歴史、安三語録、建物の由来など興味深い内容ばかりです。

一部ページが
閲覧できます

学園卒業生組織の新体制について

同窓会会長　山本美浩／79中学・82高校・86大中卒

2023年総会で方向性を報告させていただいた、学園同窓会と大学校友会の組織連携、統合について具体的なご報告をいたします。

2024年で68周年を迎える学園同窓会は、旧高等女学校、中学、高校、短大、大学、大学院まで、幼稚園以外のすべての卒業生が会員で、会報の発行、桜まつり、リ・ユニオン、賀寿祝い礼拝、中高成人式記念礼拝、全国支部長会議の開催、地域支部の設立、支部リ・ユニオン開催支援、大学祭、中高文化祭支援等、卒業生同士の親睦、母校の発展に寄与することを目的としています。

2019年に学園主導で設立された大学校友会は、短大・大学・大学院の卒業生を中心に在学生、教職員など大学に関わる方々の親睦と在学生の支援、母校の発展を目的にしており、2022年に一般社団法人になりました。ホームカミングデーの開催、学生の就職活動支援をはじめ、卒業生同士の職域ごとのつながりの構築にも注力しています。

今後日本は少子化が進み、学園として入学者の人数と質の確保が大きな課題となり、学園卒業生組織の役割がさらに大きくなっていきます。同窓会としての重要課題でもある、地域、職域、その他さまざまな卒業生ネットワークづくりのためにも、同窓生の母体となる卒業生組織を一本化して効率的な運営を行っていくことが必要です。

組織図は下記のとおりですが、両団体の財源、予算、組織状況を踏まえ、当初の提携から5年以内に完全統合を目指します。

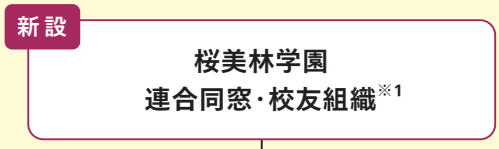
具体的には「桜美林学園連合同窓・校友組織」を新設し、そのアンブレラのもとに「一般社団法人大学校友会」と、新たに「中高同窓・校友組織」を設置いたします。会社組織でいうホールディングス制を採用し、学園全体の卒業生組織を代表して重要事項の調整・決定は新設する「桜美林学園連合同窓・校友組織」が担当し、「大学校友会」と「中高同窓・校友組織」は事業会社として独立性をもって各設置校卒業生対象事業（例えば、大学全体事業、中高全体事業、クラス、学年、学部、学群、ゼミ、クラブなどの事業）を行います。

ただし、リ・ユニオン、賀寿祝い礼拝等の学園全体イベント、地域支部、職域別活動、同窓会だよりの発行については、「桜美林学園連合同窓・校友組織」のもと、タスクフォースとして「大学校友会」と「中高同窓・校友組織」が合同で企画、催行、発行いたします。そして5年以内に「桜美林学園連合同窓・校友組織」を一般社団法人化して、総合予算管理、重要事項意思決定、事務統括等を行い完全統合いたします。

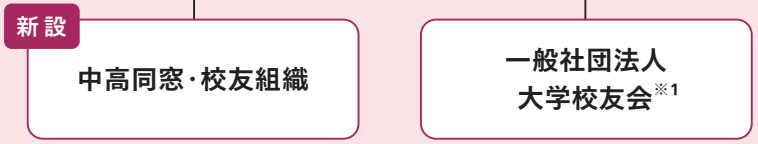
なお、より詳細な内容については、今年の総会にてご報告させていただく予定です。

【新体制組織図（提携～統合）】

- 学園全体の卒業生組織を代表
- 事業統括
- 重要事項の調整・決定
- 総合予算管理※2



- 各設置校の卒業生対象事業を担当
- タスクフォースの遂行※3



※1　組織統合時に大学校友会から桜美林学園連合同窓・校友組織に一般社団法人格を移します。

※2　組織統合時に予算に基づいて「大学校友会」と「中高同窓・校友組織」へ配分されます。

※3　リ・ユニオン、賀寿祝い礼拝等の学園全体イベント、地域支部、職域別活動、同窓会だよりの発行はタスクフォースとして「大学校友会」と「中高同窓・校友組織」が合同で企画、催行、発行いたします。

オベリンナーの活動をご紹介

キャンパスを超えた仲間とともに思いを作品に込めて

Helios代表 **舘岡稜奈**さん（LA学群4年）

私たち「Helios（ヘリオス）」はファッションショーサークル「unlimited」の中で出会い、結成したチームです。メンバー構成は、代表を務める私、衣装製作：飯野・赤川、楽曲制作：清水、撮影：梨木ビクトル、スタッフ：erim・末永のリベラルアーツ学群と芸術文化学群の学生７名です。大学生活のほとんどがコロナ禍真っ只中だった私たち。今回制作したHeliosの作品は、そんな私たちを支えてくださった周りの方々への恩返しとコロナ禍からの復興がコンセプトです。チーム名である「Helios」は「太陽」を意味し、作品は太陽から多くの温かい光をもらい、そこから咲き誇る「花」＝「自分たちの学生生活・将来」をイメージしたデザインになっています。生地の分量感と材質にこだわり、モデルが歩くと自然の中で花が揺れるようにつくられています。また、全員がアパレル・ファッション業界に関心があることから、この業界の抱える環境問題にも着目。写真の作品８点すべてのベースは廃棄された生地でできています。桜美林大学は、学群やキャンパスを超えた仲間たちとどんなことにも挑戦できる本当に素敵な学び舎であると実感しています。これからも応援よろしくお願いいたします。

Heliosの作品は、2023年12月に東京のZepp Hanedaで開催された『CAMPUS COLLECTION 2023 TOKYO』に出展されました。

桜美林に救われた恩を次の世代の子どもたちへ

NPO法人リトリト共同代表 **広田悠大**さん（16大LA卒）

「町田地域に根付く教育系NPO法人」を目指し、教育課題解決のためのNPO法人を運営しています。特に力を入れているのは町田市内で学校に行けない子どもたちの居場所支援をする「探求フリースクール・マチラボ」の運営です。「学校へ行っていなくても、探求心をもっていれば必ず活躍の場はある」をキャッチフレーズに、学校に行かない選択をした児童・生徒への探究学習の伴走を行っています。

NPO法人リトリトは大学生と協働し、高校生に探究学習を提供しています。詳細はこちら https://syncable.biz/associate/little-by-little

私は中学時代に不登校だった際、桜美林大学が実施する「不登校生学習支援プログラム」に参加していました。「学校に行けない＝人生おしまい」だと思っていた私にとって、受け入れてくれる先生がいることはありがたく、サポートしてくださった学生さんや担当の教授と過ごす日々はとても新鮮で楽しいものでした。サポートを受ける中で、自分も「子どものサポートができる存在になりたい」と思い、桜美林大学入学後に当プログラムのスタッフになり、支援者としての経験を積みました。

桜美林学園に救われ育てていただいたご恩を次世代に返していきたいと思い、当法人では現役のオベリンナーの方との協働を実施しています。学生さんに働いていただく上で、まだまだ待遇面には課題があります。活動にご賛同いただける方は、左記URLより月300円のご支援からサポーターになっていただけますと幸いです。

OBERLINER ACTIVITIES

桜美林学園の2023年度のスポーツや部活動の結果、卒業生アスリートの動向についてまとめました!

◆ 大学　特別強化クラブ ◆

陸上競技部駅伝チーム
- 第100回 東京箱根間往復大学駅伝競走 予選会
  総合　26位　（合計タイム10時間53分27秒）
  個人　26位　ネルソン マンデラ ンビティ（GC2年）
  　　158位　志村紘佑（健福2年）

弓道部
- 第35回 全国大学弓道選抜大会 男子　優勝
- 第71回 全日本学生弓道選手権大会 男子　準優勝
- 第47回 全日本学生弓道女子王座決定戦 女子　準優勝（2年連続）

野球部
- 首都大学野球連盟 1部リーグ
  春季リーグ戦　4位／秋季リーグ戦　4位

アメリカンフットボール部
- 関東学生アメリカンフットボール連盟 1部 BIG8　1位（次年度TOP8昇格）

バレーボール部
女子
- 関東大学バレーボール連盟 1部 春季リーグ戦　11位
- 関東大学バレーボール連盟 1部 秋季リーグ戦　11位

男子
- 関東大学バレーボール連盟 3部B 春季リーグ戦　2位
- 関東大学バレーボール連盟 3部B 秋季リーグ戦　1位

チアリーディング部
- 第35回 全日本学生チアリーディング選手権大会　9位

ソングリーディング部
- ALL JAPAN CHEER DANCE CHAMPIONSHIP
  Jazz部門　2位／Pom部門　5位

サッカー部
- 関東大学サッカーリーグ戦
  東京・神奈川チャレンジ　1位（次年度2部昇格）

女子ラクロス部
- 第35回関東学生ラクロス
  リーグ戦 4部 Cブロック　1位（次年度3部昇格）

◆ 高校　部活動 ◆

野球部
- 春季東京都高等学校野球大会　ベスト8
- 第105回全国高等学校野球選手権記念大会
  西東京大会　ベスト16
- 秋季東京都高等学校野球大会　ベスト16

軽音楽部
- 第16回 東京都高等学校軽音楽コンテスト
  グランプリ（東京都規程表彰授与）（2年連続）（高3年）
- 第10回 全国高等学校軽音楽コンテスト
  グランプリ（高3年）
- Tokyo Music Rise 2023 Summer Final Stage
  準グランプリ（高3年）
- 第16回 東京都高等学校文化祭 軽音楽部門 中央大会
  準グランプリ（東京都教育委員会賞授与）（高2年）
- 全国高等学校軽音楽発表会（高知大会）
  準グランプリ（高2年）

◆ 卒業生アスリート ◆

大学野球部OB・土生翔太さん（22大健卒）中日ドラゴンズに入団

2023年のプロ野球ドラフト会議において、大学野球部OBの土生翔太さん（22大健卒・茨城アストロプラネッツ所属）が、中日ドラゴンズから5位指名を受けて投手として入団しました。桜美林学園出身でプロ野球入りするのは、荻野忠寛さん（元千葉ロッテマリーンズ／00高校卒）、足立祐一さん（元東北楽天ゴールデンイーグルス／07高校卒）、川相拓也さん（元読売ジャイアンツ／12大健卒）、佐々木千隼選手（横浜DeNAベイスターズ／16大健卒）、山野辺翔選手（埼玉西武ライオンズ／16大健卒）に続く6人目。土生さんは「中日ドラゴンズから5位指名をいただきました。皆さまから愛され、中日ドラゴンズといったら土生だ！ と思わせることのできる選手になれるよう頑張ります。今後も応援よろしくお願いいたします。」と意気込みを語りました。同窓生として、土生選手をはじめ活躍されている皆さんを応援したいですね。

清水安三先生随筆

「基督教世界」

昭和2年（1927年）5月19日

原文、難しい本漢字は略漢字に、旧仮名遣いは新仮名遣いに、志那は一部を残し中国に改めました。難しい漢字には振り仮名を振り、難しい言葉には（　）を付けて言葉や意味を補い、句読点を付けました。　小林　茂／51高校卒

動乱の志那（中国）から

中国は今大動乱である。未曾有の動乱である。日本はこの隣国の大動乱に対して、如何なる態度をとるか。その対策如何に依って、日本は明治大正を黄金時代と爲して、文化を下り阪となすであろう。思えば私達臍の緒切って以来の国難的事件であらねばならぬ。

私は今回上海、九江、南昌、漢口、武昌を観察して、今次国民革命を能う限り、研究し視察し帰った。或は新聞に雑誌に、己にその研究を発表し尽したから、ここにはただ単に基督教に関する事柄のみを書くであろう。

今度の中国国民革命を、世人多く赤露（ソヴィエト）のそれに比するのであるが、私は両者が根本的に、相異るものを持っていると考える。先ず中国の革命はナショナルムブメント（国家的運動）であって、攘夷的要素を多分に有する。が、赤露の革命は「第三」インターナショナル（一八七一年フランスで作られた革命歌、後の労働歌、一九四四年までソ連の国歌）の名に見る如くに、国際的な性質を有する。決して樺太を還附せよとか、何とか言って意気捲いたものではない。それから赤露の革命は、創造的であって生命に満てるものであったが、中国の革命は模倣的なものである。クリエイティブ（独創的）な赤露の革命は左に行き過ぎたと思えば右に一寸丈け戻る丈けの力量がある。けれども中国の革命は中国にふさわしかろうが、あるまいが遮二無二模倣する。左に行き過ぎて行詰っても、戻る丈けの生命がない。

露西亜の国民はアングロサクソン衰亡の後、来るべき新文化を産出するであろうと、期待され居る。何といっても新興民族である。けれども中国の国民は過去に文明を有する一つのダケーデング（衰退する）ネーション（民族）である。

新教育を受けて、新人として、諸処に輝ける、中国人も数少くはない。けれども四億という人間の数に割当てれば、これ等新中国人は暁天の星（極めて数が少ないところ）の如くにしてまだまだ中国は塗生の域に達して居らない。ソヴィエト、ロシアは数年を出でずして纏りもしたが中国はそうは行くまい。まだまだ乱動は続くであろう。

私はドストエフスキーの小説に現われ来る人間、ドストエフスキーの文学に出て来る宗教を通じて考えて見るに、赤露がどの様な態度をキリスト教に取っても、宗教は決して根こ切りにされはせぬと思う。夢の新芽は冬季雪の上から、踏みつけても、新芽はずんずん伸びる。時には新芽をちぎって置いた方が反って、よい芽が出て来るのである。赤露の宗教圧迫は果せる哉、新しいキリスト教を生み出しつつあるではないか。

けれども中国の如きが、生意気にキリスト教を圧迫すれば、元も子も無くして仕舞う恐れがある。双葉の折に摘み取られると、それぎりになって仕舞う。中国の基督教の爲めに憂うるものは独り私ばかりではあるまい。

中国の基督教信徒の信仰を疑うものがある毎に、私は弁護し弁護し来った。けれども私は南京事件の折にウイリアムス老宣教師を見殺しにせし、金陵大学生にうらみが述べたくなる。先年西尾幸太郎氏と南京城外で、逢いしことであるが、実に神々しき人であった。この人が虐殺されたる時に、一人も金陵大学生は抵抗防禦してくれなかった。若しそれ読者諸君、ラーネッド先生（同志社大学第二代学長）がモップ（群衆、暴徒、暴民）の爲めになぶり殺される時があれば、同志社健児は半ば死し、半ば重傷を受けたる時であろう。

金陵大学の中国人女学生が宣教師の凌辱（性的暴行、辱め）され時、僅かの抵抗をせしこと位が、せめてもの美談であるが、それも一寸した真似事であった。

国民革命政府の中央執行委員中には、除謙、宋子文、孫科、宋虔齢等のクリスチャンが居る。これ等の人達は基督教の信徒であり乍ら、基督教反対運動に挑戦しようともせねば丸で路傍の人の如くにしている。何故にミッショナリイ（宣教師、伝道者）が帝国主義の

手先でないことを堂々声明せざるか。

先達も余日章氏に会ったが、「今迄の如くに宣教師自らが、働かないで中国人教役者（牧師、伝道者、宣教師の総称）の後方に在って、顧問として援助すべきである」と言っていたが、そんなことは今聞きたいことでも言うべきことでもないのである。今は世論に迎合せず、恐れずして、正面より宣教師の為めに、弁明もし、味方にもなるべき秋である。そうしてこその攘夷的空気を、門戸開放の世界主義に導き得るのである。一体中国の基督教徒に意気地がないからリーダーシップを失うて仕舞うのである。

宣教師の方でも種の蒔き直しをするがよい。この動乱に際してもう一度団匪の時（義和団の乱）の如くに、殺されてもそれは犬死であるから、中国が正気に立ち帰るまで、反って居直って、今度来たならば、病院だの学校だの青年会だのいうものはやらずに、純然たる伝道をするがよい。キリストが医療を主要事業とせず、福音宣伝を肝緊（一番大切なこと…重要事項）とされる如くに、数よりも質のクリスチャンを作るがよい。

日本の基督教が、国家愛と矛盾するせないで、ストラッグル（格闘）一通りやった如くに、之からは中国の基督教は、共産主義と矛盾するせないで、一つ煩悶（もだえ苦しむ）すべきである。多年資本主義者の下女を勤めたりと、いわれ来しキリスト教が今度は、共産主義はキリスト教が元祖であると、名乗り出て行くべく中国では已にもうその時代が到来して居る。

宣教師はこの問題からして一つ、解決してかからねばならぬ。蒋介石が右派、除謙が左派といった所で、双方とも社会主義であるからには、何れが勝っても負けても、孫文の三民主義（民族、民権、民生の三主義）は中国を風靡（人々をなびき従わせる）せねば止むまい。宣教師がイエスの教えの中に三民主義を発見し得ぬ限り、それは排斥される要素を持って居ることになり、国民革命に取っては邪魔物である。

多くの宣教師達が、暫く傍観して居ろうという考えを抱けるは実のところ、この辺の心理から出て居る。

皆さまからのお便り ひろば

※基本的に原文の通りに掲載しています。

上野晃裕／81大経卒　（岡山県）

25年経営している大阪の会社に加え、5年前より岡山でも代表権のある役員に就任しております。あわせて公務員志望、医学部志望の学生に大学や専門学校で講義をしています。2年前より高校での講演のお仕事もさせていただき、年間50校くらい進路についてのオファーがあります。詳しくは〈コーエンプラス〉のサイトで紹介されています。

石川喜代子／70短英・72大英卒　（東京都）

同窓会だよりや桜美林学園のすばらしく発展する様子を書面から見させていただき、主人と学生時代をなつかしくまた安三先生を思いおこさせていただいております。

片岡　智／81大商卒　（栃木県）

毎回送って下さっている同窓会だよりの発行をされてます皆さま方に感謝しております。

大矢　周／86高校卒　（神奈川県）

同窓会だよりを手にする度に懐かしい先生方や友人達の姿が浮かびます。学園の益々の発展をお祈りしております。

幸本佐知子／82高校卒　（広島県）

同窓会だよりをいつも楽しく拝見しております。この度、さいたま市から広島市へ転居しましたのでお知らせします。転勤族の家に育ち、転勤族の人と結婚したのであちらこちらへの引越し人生です。今回はずいぶんと遠くへ来ました。国際観光都市でいつもにぎわっています。そこここで平和を祈る街です。

ご逝去された方々

謹んでご冥福をお祈りいたします。

卒業生は敬称略　（　）内は旧姓〔　〕内は逝去年月

杉嵜（鈴木）和子 元大学英文科教授……57短英卒〔24.02〕
松本　忠 同窓会第3代会長……53高校卒〔23.09〕
小泉（渡辺）妙子……63高校卒〔22.11〕
松山創一郎……76大経卒〔22.12〕
井上（島崎）ヨシ江……48中学卒〔19.08〕
玉崎勝乗……93大中卒〔23.04〕
佐藤弘子……76短英卒〔23.05〕
佐藤（牧）和子……68高校・70短英卒〔21.03〕
髙橋朋也……69高校卒
角海俊一……66高校・72大中卒〔22.07〕
阪本啓子……95中学・98高校卒〔23.01〕
堀江正人……62中学・65高校・71大経卒〔23.04〕
露木（石川）幸美……72短家卒〔23.04〕
安原慶一郎……96中学・99高校卒〔23.12〕
武田光正……55高校卒〔23.05〕

INFORMATION

これからの行事予定

2024

❇印は同窓会主催

賀寿礼拝❇	4月27日(土)
大学祭(多摩キャンパス)	5月25日(土)
2024 総会＆リ･ユニオン❇	6月15日(土)
横浜リ･ユニオン❇	9月　7日(土)
中学･高等学校文化祭	9月15日(日)･16日(月･祝)
大学祭(東京ひなたやまキャンパス)	10月　5日(土)･　6日(日)
大学祭(町田キャンパス)	10月26日(土)･27日(日)
大学祭(新宿キャンパス)	12月14日(土)･15日(日)

※上記の行事予定の詳細はそれぞれのウェブサイトをご確認ください。

個人情報の取り扱いについて

同窓会では、個人情報につきまして、学園のプライバシーポリシーに基づき厳重な管理をしており、同窓会会員名簿の発行は1996年に発行したものを最後にいっさい行っておりません。しかし、過去に発行した会員名簿や卒業生名簿が一部の名簿業者に渡り、その名簿を購入した企業より、営業目的のDMや電話があったとの情報が事務局まで寄せられています。名簿の保管には充分ご注意いただき、第三者への譲渡や販売はお控えくださいますようお願い申し上げます。またDMや電話から、その企業へ名簿を提供した業者が特定できた場合、お申し出により名簿記載事項の削除を求めることができます。ご不明な点は事務局までお問い合わせください。

同窓会Facebookのご案内

桜美林学園同窓会のFacebookでは、同窓会や学園の最新情報、在校生・卒業生の活躍などをお伝えしております。詳細はFacebookのウェブサイトから「**桜美林学園同窓会**」で検索いただくか、下記QRコードよりアクセスをお願いいたします。

フォロー、お待ちしております！

@obirin.alumni.official

事務局からのお知らせ

転居など、個人情報の変更手続きは、同窓会ウェブサイトの専用フォームをご活用ください。ウェブサイトをご覧になれない方は、桜美林学園同窓会事務局までご連絡ください。

お電話でのお問い合わせ／☎042-797-1632（平日9:00～16:00）
ファックスでのお問い合わせ／☎042-797-3897
メールでのお問い合わせ／alumni@obirin.ac.jp
ウェブサイト／https://www.obirin.jp/alumni

〈桜の園日本一計画〉へのご寄付について

学園創立100周年記念事業として、多くのご賛同をいただき感謝申し上げます。〈桜の園日本一計画〉のご案内と桜植樹の進捗状況は、同窓会ウェブサイトに掲載しています。右記QRコードよりアクセスください。

208号掲載のご寄付をいただいた方の卒業年度と設置校に誤りがありました。謹んでお詫び申し上げ訂正いたします。

誤：松崎千絵/00短生卒、三井園子/98高校卒…10,000円
正：松崎千絵/98高校卒、三井園子/98高校卒…10,000円

学園史編さん室からのお知らせ

学園史編さん室では2025年度刊行予定の資料編の作成を進めています。お手元に在学していた当時の**教育関係の資料（例:時間割、カリキュラム、生徒手帳など）**や**物品（例：制服、バッグ、校章）**などがございましたら、ぜひご寄贈くださいますようお願いいたします。

お問合せ先：学園編さん室 gakuensi@obirin.ac.jp

特別会費寄付者ご芳名 敬称略

黒川　明彦／72高校卒……30,000円
中野美津子／86高校卒……10,000円
今野恵美子／85高校卒……10,000円
一條　正浩／80高校卒……10,000円

感謝の誌代 敬称略

岸間　正／55中学･58高校卒……10,000円
一井久子／66短英卒……20,000円

編集後記

209号では、「活躍するオベリンナー」を巻頭に掲載してみました。広報委員会でも各支部リ・ユニオンなどに伺って、さまざまな職業の同窓生とお会いする機会が増えました。皆さんとても生き生きと人生を謳歌されているのを見て、大変嬉しく思います。同窓会ウェブサイトに掲載中の「活躍する同窓生」もご覧ください。

以前より紙面上に掲載しきれない写真や情報にアクセスしていただけるようにQRコードを掲載していますので、ぜひご活用ください。

今号では北京の陳経綸中学の記事へのアクセスが特におすすめです。安三先生の足跡はしっかりと北京に残されています。広報委員会委員長 田邊佳織／77大英卒

桜美林学園 同窓会だより 209号　発行日：2024年3月25日　発行：桜美林学園同窓会　〒194-0294　東京都町田市常盤町3758　☎042-797-1632

※掲載されている卒業年は、全て年度表記としております。　※QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。